

☆クイズ☆

下の動物はどのエサを食べるかな？

線をつないでみよう！

エゾ
モモンガ



コンドル



ゴマフ
アザラシ



答えは「ちびっこふぁーむ」に掲示しています

おびひろ動物園情報誌『Zoo Zoom おびひろ』2020年夏号

発行日：2020年7月1日

編集・発行：おびひろ動物園 〒080-0846 帯広市字緑ヶ丘2番地

TEL：0155-24-2437 E-mail：zoo@city.obihiro.hokkaido.jp

ブログ：<https://ameblo.jp/obihirozoo>

Twitter：@obihirozoo

おびひろ動物園

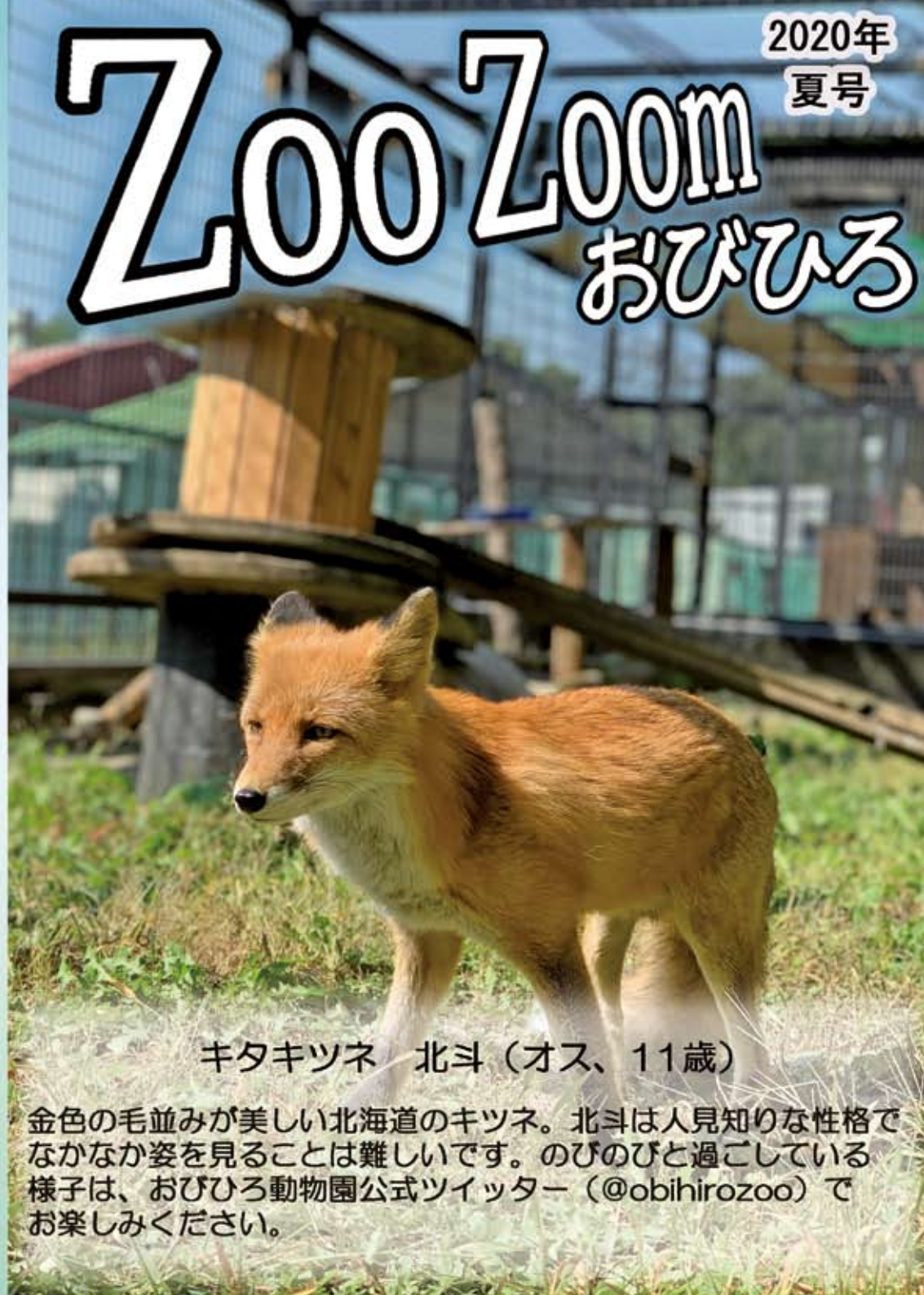
検索

ブログは
コチラから



2020年
夏号

Zoo Zoom おびひろ



キタキツネ 北斗（オス、11歳）

金色の毛並みが美しい北海道のキツネ。北斗は人見知りな性格でなかなか姿を見ることは難しいです。のびのびと過ごしている様子は、おびひろ動物園公式ツイッター（@obihirozoo）でお楽しみください。

動物福祉 について

(公益社団法人日本動物福祉協会HPを参考)

動物福祉の考え方のひとつに、

人間が動物に対し与える苦痛を最小限に抑えるなどし、動物の心理学的幸福を実現する「5つの自由」があります。

おびひろ動物園で飼育する動物たちも、肉体的・心理的に健康であるように努めています。

1. 飢えと渇きからの自由

適切かつ栄養的に十分な食物と水を与えます。

2. 不快からの自由

適切な環境（清潔で酷暑や酷寒を避け、ケガをしないような環境など）で飼育を行います。

3. 痛み・傷害・病気からの自由

動物が痛みを感じたり、ケガをしていないか観察をし、普段から健康管理や予防に努めます。

4. 恐怖や抑圧からの自由

動物に多大なストレスや、精神的苦痛（不安など）を与えないように努めます。

5. 正常な行動を表現する自由

動物の習性に応じ、単独や群れでの飼育を行い、動物にとって適切で、十分な空間を用意するように努めます。

高齢動物の介護・治療

おぼあちゃんヤギのユズは、2018年の秋に左前肢が動かせなくなり、歩行困難になりました。現在はハンモックや専用の車椅子を使って介護を行うほか、お灸・はり治療なども行っています。



四季彩の行動展示

エゾタヌキは、令和元年夏に、小獣舎からさらに広い狐狸舎に引越しをしました。雪や風といった自然を感じ、タヌキの生態にあわせた行動展示が出来る設備をDIY（手作り）しました。



ストレスの軽減

野生動物は、人に触れられるのが苦手です。そのため、採血や検温といった健康管理、緊急時の治療や投薬がしやすい体勢を取ることを覚えさせる、ハズバンドリートレーニング（受診動作訓練）を行っています。

